



# “シャキッ”と新聞

第79号

2013. 11. 18

西中PTA執行部 発行

責任者 高橋 敦志

今月の“シャキッ”とする週間  
11/18(月)～11/22(金)

気がつけば立冬を過ぎ、師走の足音を感じる季節となりました。秋から冬にかけては、インフルエンザなどの感染症が流行りやすくなります。子どもたちだけではなく、私たち保護者も体調管理には充分気をつけて、これからやってくる“冬”に備えたいものですね。

先月行われました文化祭では、前日からの雨模様を吹き飛ばすような、伝統ある西中生の歌声や力強い歓声に盛り上がりを見せた舞台発表を、大いに楽しむ事ができました。PTAでは、バザーや制服・体操服等リサイクルも、例年とは違って会議室での開催となりとまどいもありましたが、たくさんの皆様にお越しいただき、盛況に終えることができました。また、骨髄バンク募金にもご協力をいただきありがとうございました。その他にも会場整理や取材活動などいろいろな分野でお手伝いいただいた委員の皆様、本当にありがとうございました。



◆◆ 教育懇談会 ◆◆ 11月13日(水) 13:30より教育センターにて、教育委員会事務局との懇談会に参加しました。簡単にまとめてみました。詳細につきましては、議事録がありますので、ご覧になりたい方はお知らせください

## 1 学区拡大に伴う情報

Q 進路指導において、学区拡大後の34校のレベル開示について、どのように考えていますか？  
→ 学校のレベルや子どもの成績だけで進路を決めると、子ども本人が苦しむことになる場合があります。とはいえ、成績が大事なのも事実です。過去の合格者の成績等参考に出来るような資料の作成や情報の開示を県教委に要望しているところです。

## 2 いじめ報道のその後

Q テレビ等でいじめの報道などが後を絶ちません。伊丹でもアンケート等をされていますが、その後の状況について教えてください。  
→ 伊丹市では、6月・11月の2回(学校判断で3月の3回)アンケートを実施しています。先生個人で抱え込むことがないよう、学校・教育委員会全体で取り組んでいます。家庭にお願いしたいこと、1. 家族での話し合い・対話の時間を増やす。外での子どもの様子を知ってほしい。2. 相手の気持ちにたって物事を考えるよう促す。人によって感じ方が違うことを理解させる。3. 規範意識を育てる。言い分があるなしにかかわらず、いじめという手段がダメなことを理解させる。



11月14日(木) 福祉教養部主催・社会見学 神戸税関・アシックススポーツミュージアムに行ってきました！重厚感溢れる神戸税関では、本物と偽物？など楽しくお話を伺い、税関の役割の重要性等を学びました。昼食は、神戸オリエンタルホテルでランチバイキングを楽しみ、その後アシックススポーツミュージアムでは、スポーツ選手の世界記録に触れられるすばらしいシステムに驚き、感動しました。バスの中でのおしゃべりタイムも楽しかったですよ！



## \*\*地区活動部より\*\*

文化祭では、バザー出店に多数の皆様のご協力をいただきまして、ありがとうございました。

あいにくの雨で会議室での開催となりましたが、たくさんの皆様にお越しいただき無事に終えることができました。

本当にありがとうございました。

## \*\*福祉教養部より\*\*

文化祭では、制服・体操服等リサイクルにご協力をいただきまして、ありがとうございました。

雨模様で寒い中、早くからお並びいただきありがとうございます。また来年度に向けてリサイクル品の提供をお願いする際には、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 1 1月度の企画委員会にて・・・

文化祭の反省の中で、私たち保護者のマナーについて厳しい意見が寄せられました。そんなに大きな声でおしゃべりしている保護者はもちろんいませんが、少しの気のゆるみが結果的に子どもたちに迷惑をかけてしまっているようです。たとえば体育館に出入りする時です。お仕事等で、忙しい時間の合間をぬって出入りしてしまう私たちですが、まだ合唱が始まっていないから・・・。今発表が終わったから・・・。そのような理由で気のゆるみが少し出てしまっているのかもしれませんが、合唱や発表中でなくても、開会や閉会のセレモニー、先生から子供たちへの伝達事項など、体育館の中では文化祭は続いています。「こんにちは！」「久しぶり！」言葉は短くても、それが何十人となれば騒音となってしまいます。

私たち役員も、バザーや募金の呼びかけ等のタイミングで、迷惑をかけてしまったのではないかと反省しております。子どもたちの大事な学校行事を壊してしまうことのないように、みんなで気を付けましょうね。

## 会長のひとりごと



～ 今年の流行語大賞は・・・？ ～

うわ、寒っ！先月は暑いと言っていたはずなのに・・・今年短い秋かぁ・・・。そんな一瞬の秋を感じることができた11月2日の土曜日、西中学校吹奏楽部の定期演奏会が盛大に開催され、会場となった「なるお文化ホール」には、伊丹から少し離れているにもかかわらず、多くの来場者に会場は賑わっていました。演奏会は西中吹奏楽部のレベルの高さを終始感じさせてくれる最高のものとなりました。途中、私の美声を披露する合唱の舞台もあつたんですが・・・聞いていただけただけでしょうか？演奏会の最後は、3年生ひとりひとりの名前が呼ばれ、大島先生からお花のプレゼント。感動的で思いっきりの拍手を贈りました。3年生のみんなはかっこよかったです！

さて、吹奏楽部の3年生を含め西中の3年生は、これからもっと主人公になる季節になってきました。西中生として過ごせる残りの時間、輝く春を迎えるための残された時間、3年生には時の大切さをしっかりと感じてもらい、日々を充実したものにしてもらいたいと思います。

みなさんもお存知だと思います、現代経営学の有名な著書「マネジメント」を執筆したピーター・ドラッカーさんの言葉に次のようなものがあります。「未来を語る前に、今の現実を知らなければならない。現実からしかスタートできないからである。」

人が何かをしようと思ったり、行動しようとしたりするのに遅いってことはありません。3年生には、来年の春に向けて一步一步、前に進んでもらいたいと思います。

西中の3年生のみんな！輝く春に向けての努力はいつやるの？「今でしょ！」なんてな。  
(高橋敦志)

次回の“シャキッ”とする週間は、12/16(月)～12/20(金)です。朝のあいさつ運動は8:10頃～8:30頃まで正門付近で行います。師走に入り、何かとバタバタする時期ではありますが、子どもたちが寒さで元気がなくならないように応援しましょうね！